

オーディオ実験室収載

ライブストリーミングを楽しむ(36) —サントリーホールオルガンプロムナードコンサート—

1. 始めに

前報(25)に引き続き、サントリーホールのランチタイムコンサートの「サントリーホールオルガンプロムナードコンサート」を視聴しました。

2. ライブストリーミング情報入手源と PC および使用機器環境

「オルガンプロムナードコンサート」は、1991年10月より原則木曜日のランチタイムにサントリーホール 大ホールで開催している無料コンサート。すでに300回以上開催されている。サントリーホールは今年の4月より配信ライブ（有料）やバーチャルバックステージツアーができる独自サービス「デジタルサントリーホール」をスタートしているが、今回も YouTube で無料配信。

【有観客公演&無料オンライン（ライブ&リピート）配信（デジタルサントリーホール）】

日時：2021年6月10日(木) 12:15～12:45（11:45 開場）

会場：大ホール

出演：

大木麻理（オルガン）

曲目：

リンク：モーツァルトの「きらきら星変奏曲」の主題による序奏、
変奏曲と終曲 作品 90

J. S. バッハ／レーガー 編曲：半音階的幻想曲とフーガ ニ短調 BWV 903

PC はいつもの音楽用 PC です。

また、並行して DMR-UBZ1 の視聴も試みました。



3. ライブストリーミングの経過

会場は人数制限をした上での聴衆の参加がありました。

サイトには、出演者メッセージとして以下のような解説がありました。

「一人オーケストラとも称され、無限の音色の可能性を持っているサントリーホール
のオルガン。今回のコンサートでは、その魅力を最大限に味わっていた
だけのプログラムをお届けします。

ドイツロマン派の作曲家・オルガニスト、ヨハン・クリスティアン・ハインリ
ヒ・リンク（1770～1846）が残した、モーツァルトの『「きらきら星変奏曲」
の主題による序奏、変奏曲と終曲』は、かの有名なピアノ曲『きらきら星変奏
曲』のテーマをモチーフに、オルガンらしい壮大な『きらきら星』の世界をお
楽しみいただける作品です。聴き慣れたメロディーが、オルガンの多彩な音色
によって、どのように響くのかご注目ください。

19世紀以来絶大な人気を誇る、『半音階的幻想曲とフーガ』は、もとはクラヴ
ィア用に書かれたものですが、今日はマックス・レーガー（1873～1916）編
曲のオルガン版をお聴きいただきます。レーガーはヨハン・ゼバスティアン・
バッハ（1685～1750）以降の最も重要なドイツの作曲家・オルガニストで、自
身を「第2のバッハ」と呼ぶほどバッハに心酔し、多くのクラヴィア作品を
オルガン用に編曲しています。音量の幅や音色の豊富さに利点を持つオルガン
では、この作品の威容と絢爛さを、より味わっていただけるのではないでしょ
うか。「オルガンってこんな音も出せるんだ……」、そんな新鮮な驚きを、皆
さまと共有することできれば幸いです。 （大木麻理）」

開演前に、DMR-UBZ1の視聴がリアルタイムでできるかどうか試みましてとこ
ろ、写真のように可能であることが分かりました。前報(27)ではアーカイブの視聴で
したが、PCと同様、DMR-UBZ1のリアルタイム視聴も問題ありません。





途中、Sonica DAC への入力を PC からの USB 入力と DMR-UBZ1 からの S/PDIF 入力を切り替えながら聴いていきました。USB 入力では、Sonica DAC の表示は 48KHz となり、S/PDIF 入力では、DMR-UBZ1 でアップサンプリングしていますので 176.4KHz となっていますが、音質的には、ほぼ同レベルと言ってよいと思います。

4. まとめ

PC 経由とともに、並行して DMR-UBZ1 経由でもサントリーホールオルガンプロムナードコンサートが視聴可能でした。

バランスアナログアキュライザーが加わったことにより、ボリューム調整と切り替えが、P&G フェーダーから FIDELIX の [TruPhase](#) に替わったことにより、音質はこれまでの YouTube での限界を超えた感があり、ライブ感は十分出ています。演奏会と並行して、こういった企画で演奏家と音楽愛好家を繋ぐ手段としてあっていいと思われま

以上